

商品名 イプリフラボン錠200mg「ツルハラ」 医薬品基本情報

薬効	3999 他に分類されないその他の代謝性医薬品	一般名	イプリフラボン200mg錠
英名	Ipri flavone TSURUHARA	剤型	錠
薬価	9.70	規格	200mg 1錠
メーカー	鶴原製薬	毒劇区分	

イプリフラボン錠200mg「ツルハラ」の効能・効果

骨粗鬆症における骨量減少の改善

イプリフラボン錠200mg「ツルハラ」の使用制限等

1. 消化性潰瘍又はその既往	記載場所	重大な副作用
	注意レベル	慎重投与
2. 消化性潰瘍又はその既往	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	慎重投与

イプリフラボン錠200mg「ツルハラ」の副作用等

1. 消化性潰瘍、消化性潰瘍悪化、胃腸出血、胃腸出血悪化、黄疸	記載場所	重大な副作用
	頻度	頻度不明
2. 過敏症、発疹、そう痒、悪心、嘔吐、食欲不振、胃部不快感、胸やけ、胃痛、腹痛、腹部膨満感、下痢、便秘、口内炎、口渇、舌炎、味覚異常、眩暈、ふらつき、頭痛、貧血、顆粒球減少、AST上昇、GOT上昇、ALT上昇、GPT上昇、Al-P上昇、LDH上昇、γ-GTP上昇、BUN上昇、クレアチニン上昇、倦怠感、浮腫、女性化乳房、舌のしびれ、口唇のしびれ	記載場所	その他の副作用
	頻度	頻度不明
3. 消化器症状	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明

イプリフラボン錠200mg「ツルハラ」の相互作用

1. 薬剤名等：テオフィリン

発現事象 血中濃度が上昇

投与条件 -

理由・原因 本剤がテオフィリンの代謝を阻害

指示 慎重投与

2. 薬剤名等：クマリン系抗凝血剤

発現事象 作用が増強

投与条件 -

理由・原因 本剤によりクマリン系抗凝血剤が血漿蛋白から遊離

指示 慎重投与

3. 薬剤名等：エストロゲン製剤

発現事象 エストロゲン作用が増加

投与条件 -

理由・原因 -

指示 注意



薬学をはじめとする専門知識と情報処理技術が実現する高い信頼性と豊富な情報量

医薬品データベースの決定版 『 DIR 』